

<2019年>

- 8月9日 帯解駅舎保存・活用プロジェクト発足
- 11月19日 文化財課による建物調査
- 11月25日 市長に駅舎の保存・活用への協力・支援を要請

<2020年>

- 3月24日 市長にJRからの駅舎譲渡による保存・活用の正式な決定を要望
- 7月21日 帯解駅舎保存・活用計画を提案
 - *「明治31年開設の歴史を引き継ぐ大正・昭和の頃の駅舎を復元した駅舎ミュージアム」と明記
- 8月29日 帯解駅舎保存・活用の会設立 (この頃、登録有形文化財申請手続きを開始か)

<2021年>

- 2月12日 登録有形文化財申請が遅れ、2022年度竣工が2023年度に遅れる
- 3月23日 改修保存設計委託費300万円予算化
 - * 帯解駅舎保存・活用事業が正式に決定ということか
- 7月20日 JRとの間で駅舎無償譲渡契約締結
- 7月30日 9月登録有形文化財申請、2021年度設計完了、2022年度国に補助金申請、2023年度予算化、2023年度内竣工との報告を受ける
- 12月16日 奈良町にぎわい課からの要請で駅舎活用計画(案)を提示
 - * 本計画で「大正15年(1926)の改築当時の駅舎復元整備に沿った活用を基本とする」と記載

<2022年>

- 6月29日 帯解駅本屋 登録有形文化財に
- 7月15日 JRとの調整不調により、2023年度竣工予定が2024年度となる
 - 8月竣工までの担当は奈良町にぎわい課、竣工後は観光戦略課に決定
- 9月18日 奈良町にぎわい課による地元説明
 - * 竣工迄の工程表、初めて示される
 - * 大正末・昭和初めの駅舎整備イメージの説明会の設営を要望
- 10月31日 帯解駅舎保存改修の基本設計に向けた協議のあり方等を提示
 - * 保存改修の基本方針、ガイドラインの策定、アドバイザー設置、空間レイアウト内容、内部設計の設備、備品、竣工までの協議のあり方等を提示。 検討項目多し
- 11月29日 5者協議の場で、「現状の維持に主眼を置いた保存改修」との公式発言あり
 - * 基本設計終了間際になっての発言、大いに異義あり
- 12月12日 JR西日本阪奈支社長に駅舎改築・改修時期、図面等の資料調査の協力を要請
- 12月20日 市長に「登録有形文化財である帯解駅舎の保存改修のあり方について」の緊急要望
 - * 11月29日の5者協議を受けた緊急避難的な要望

<2023年>

- 1月11日 市長、JR西日本阪奈支社長に「登録有形文化財帯解駅舎の保存改修のための本屋変遷資料」を送付
 - * 大正7年の 鉄道院通達『小停車場本屋標準図』を見つける
- 2月17日 帯解駅舎保存・活用の会便り5号送付
- 3月2日 帯解駅舎保存改修基本設計地元説明会
 - * 保存改修時期についての見解の相違、埋まらず。
- 3月3日 行政文書開示請求
 - * 設計業務委託契約書とJRと奈良町にぎわい課の交渉記録
- 3月6日 奈良町にぎわい課宛での「要望と質問」
- 3月14・17日 3月議会定例会予算決算委員会で質疑
- 3月22日 JR西日本阪奈支社長と協議。協力要請
- 5月12日 JRから機器移設費用の奈良町にぎわい課へ回答
- 5月22日 奈良町にぎわい課と工事費用及び予算資金調達の件で協議
 - * 工事費用の多寡に関わらず、大正15年の大改築時への復元整備を要請